

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	1学年	開講期	通年(前期)		
科目名	情報処理 I	授業形態	演習	単位数	2 単位		
担当教員	長谷川 直子	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	民間企業のパソコン部門でのインストラクター業務、また、人材派遣会社の研修部門でのパソコン研修指導およびパソコンヘルプデスクを担当。初心者から上級者まで幅広い実践的な技術指導を行う。ヘルプデスクでは、派遣社員のパソコン実務に関する質疑応答を電話によりリアルタイムで行う。						
授業のねらい (到達目標)	幼稚園や保育園などの教育機関において、掲示物・おたより・お知らせ文書ほか文書を必要とする書類などを作成する際にWordの知識と技術が必要となる。本教科では、Wordを基礎から学習し効率的に活用できるスキルを身につける。また、情報システムと社会生活について理解する。 Excelの基本を理解する。						
授業概要	演習を通じ、パソコン環境設定、基本操作、Wordの基礎から活用操作まで学習し、MOS検定合格を目指す。また、テキスト教材を中心に情報システムとセキュリティ、コンピュータ、情報ネットワークなどの仕組みについて理解を深める。 Excelの基本操作を学習する。						
テキスト	MOS攻略問題集Word2019・情報リテラシーと処理技術						
授業計画	第1回	本演習のガイダンス、PC環境設定①					
	第2回	PC環境設定②					
	第3回	情報システムと社会生活との関わりについて					
	第4回	情報モラル、情報セキュリティ					
	第5回	情報ネットワーク、インターネット					
	第6回	コンピュータの発展、ハードウェアとソフトウェア					
	第7回	Wordの基本操作、新規文書の作成					
	第8回	文書の編集①					
	第9回	文書の編集②					
	第10回	表やリストの管理①					
	第11回	表やリストの管理②					
	第12回	参考資料の作成と管理					
	第13回	文書の共同作業の管理					
	第14回	グラフィック要素の挿入と書式設定					
	第15回	科目試験					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	1学年	開講期	通年(後期)		
科目名	情報処理 I	授業形態	演習	単位数	2 単位		
担当教員	長谷川 直子	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	民間企業のパソコン部門でのインストラクター業務、また、人材派遣会社の研修部門でのパソコン研修指導およびパソコンヘルプデスクを担当。初心者から上級者まで幅広い実践的な技術指導を行う。ヘルプデスクでは、派遣社員のパソコン実務に関する質疑応答を電話によりリアルタイムで行う。						
授業のねらい (到達目標)	幼稚園や保育園などの教育機関において、掲示物・おたより・お知らせ文書ほか文書を必要とする。書類などを作成する際にWordの知識と技術が必要となる。本教科では、Wordを基礎から学習し、効率的に活用できるスキルを身につける。また、情報システムと社会生活について理解する。 Excelの基本を理解する。						
授業概要	演習を通じ、パソコン環境設定、基本操作、Wordの基礎から活用操作まで学習し、MOS検定合格を目指す。また、テキスト教材を中心に情報システムとセキュリティ、コンピュータ、情報ネットワークなどの仕組みについて理解を深める。 Excelの基本操作を学習する。						
テキスト	MOS攻略問題集Word2019・情報リテラシーと処理技術						
授業計画	第1回	Word模擬1(演習)					
	第2回	Word模擬1(テスト)					
	第3回	Word模擬2(演習)					
	第4回	Word模擬2(テスト)					
	第5回	Word模擬3(演習)					
	第6回	Word模擬3(テスト)					
	第7回	Excel基本(基本操作、表作成と書式設定)					
	第8回	Excel基本(計算式、関数、グラフ機能)					
	第9回	Excel演習					
	第10回	Excelテスト					
	第11回	Word模擬4(演習)					
	第12回	Word模擬4(テスト)					
	第13回	Word模擬5(演習)					
	第14回	Word模擬5(テスト)					
	第15回	教育現場におけるICTの活用と展望について					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	1学年	開講期	通年(前期)		
科目名	総合学習	授業形態	演習	単位数	2単位		
担当教員	阿部裕子	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	公立、私立保育園及び認定こども園での24年の勤務経験から、現場で役立つ保育教材全般について実践的な授業を行う						
授業のねらい (到達目標)	絵本や紙芝居の読み語りの基本的な技術をはじめ、様々な保育技法を習得する 制作の際必要となる基本的知識技術を学び、保育グッズを実際制作したり実技方法について考える						
授業概要	絵本や紙芝居の年齢別選び方やポイント、持ち方、読み方について学び実演をする 手あそびモノ遊びなどを覚えて実際にやってみる 壁面装飾や制作あそびに必要な基本等を実際の素材や道具を使用し学び合う 自分なりの工夫を凝らして保育グッズを作る できたら演じて見せ合う						
テキスト	「すきま時間あそび107」&必要に応じてプリント						
授業計画	第1回	前期の授業内容・採点方法について 図画工作室の使い方片付け方 道具箱の中身の説明・使い方・実際に使ってみる					
	第2回	手あそびについて学び、様々な年齢に向けての手あそびの実演を参考に実際にやってみる テキスト「すきま時間あそび107」&プリント 手あそびは、前期末までに一人最低でも10曲以上覚える					
	第3回	絵本の年齢別選び方、持ち方・読み方について学ぶ					
	第4回	自己紹介や絵本の導入に使える手あそびと、絵本の終わり方について					
	第5回	紙芝居の年齢別選び方・めくり方・仕掛けについてと読み方の実演					
	第6回	制作のための基本的な知識と指導のポイントや裏技について プリントや実際の物を確認しながら、教材の素材と利用の知識やコツを知る					
	第7回	簡単なペープサート・カードシアターなど年齢別に様々な実演を見たり、資料を調べたりしながら自分の作りたい物を決められるようにする					
	第8回	制作を開始する					
	第9回	全員完成を目指す					
	第10回	実際に演じて見せ合い、子どもたちの前での実践方法を考えながら学び合う					
	第11回	保育で使用するグッズ第2段の制作 スケッチブックシアター(自己紹介用を含む)					
	第12回	〃					
	第13回	〃					
	第14回	完成した者から演じる練習をする					
	第15回	各自が覚えた手あそびを披露し合い、全員で共有する					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	1学年	開講期	通年(後期)		
科目名	総合学習	授業形態	演習	単位数	2単位		
担当教員	阿部裕子	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	公立、私立保育園及び認定こども園での24年の勤務経験から、現場に役立つ保育教材全般について実践的な授業を行う						
授業のねらい (到達目標)	子どもが楽しめるグッズを作り、演じ方を考えて確実に使える物にする いろいろな素材に親しんで、保育のポケットを充実させることで技術の向上を図る						
授業概要	保育現場で役立つ制作や、いろいろな素材を使ったあそびを体験し、その応用を考える 個人やグループでの発表の経験を積み、演じ方や基本的な技術を習得する						
テキスト	「すきまあそび時間107」&プリント						
授業計画	第1回	テキスト「すきま時間あそび107」であそぶ					
	第2回	オリジナルのネタ帳作成					
	第3回	保育現場で役立つグッズ制作(ペープサート・パペットなど) part①					
	第4回						
	第5回	▼ 完成した者から、演じ方を考える					
	第6回	発表する					
	第7回	保育現場で役立つグッズ制作(不思議カード、変身紙皿など) part②					
	第8回	身体を動かすあそび・遊戯系など					
	第9回	保育現場で役立つグッズ制作(手袋シアターなど) part③					
	第10回						
	第11回	▼					
	第12回	パネルシアターについて学ぶ 自分の作りたい物を決める 制作開始					
	第13回						
	第14回	▼ 完成した者から演じる練習をする					
	第15回	発表する					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	1学年	開講期	前期		
科目名	体育講義	授業形態	講義	単位数	1単位		
担当教員	宮崎 孝一郎	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	他大学での勤務						
授業のねらい (到達目標)	生涯健康でいるために必要な知識を身につけ、実践する能力を養う						
授業概要	健康科学のテキストにより科学的健康・体力づくりの方法を学ぶ						
テキスト	健康科学						
授業計画	第1回	オリエンテーション					
	第2回	現代社会の健康観					
	第3回	健康日本21					
	第4回	運動生理学①					
	第5回	運動生理学②					
	第6回	運動の基礎理論①					
	第7回	運動の基礎理論②					
	第8回	現代生活と運動不足					
	第9回	生活習慣病					
	第10回	運動と健康					
	第11回	運動処方①					
	第12回	運動処方②					
	第13回	健康な生活設計					
	第14回	現代社会とストレス					
	第15回	まとめ					
単位認定 ・ 評価方法	中間評価:レポート 期末評価:期末試験 授業時数 2/3以上の出席 平常評価:授業態度、提出物等		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	1学年	開講期	後期									
科目名	運動遊び／スポーツ実技	授業形態	実技	単位数	1単位									
担当教員	宮崎 孝一郎	実務経験の有無	○											
実務経験教員の経歴	他大学での勤務													
授業のねらい (到達目標)	生涯にわたって運動・スポーツを自ら実践することができる能力を養う													
授業概要	各種のスポーツを仲間とともに体験し、技能の上達を図りスポーツの楽しさを味わう。 仲間と身体活動を行う中で、自己の体力・健康の保持・増進を図る。													
テキスト	特になし													
授業計画	第1回	オリエンテーション												
	第2回	スポーツの運営、ラジオ体操												
	第3回	バドミントン①												
	第4回	バドミントン②												
	第5回	卓球①												
	第6回	卓球②												
	第7回	バレーボール①												
	第8回	バレーボール②												
	第9回	バスケットボール①												
	第10回	バスケットボール②												
	第11回	サッカー①												
	第12回	サッカー②												
	第13回	ソフトバレーボール												
	第14回	スケート①												
	第15回	スケート②												
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:服装及び授業態度		総合評価 算出基準	<table border="1"> <tr> <th>期末</th> <th>中間</th> <th>平常</th> <th>出欠</th> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>15%</td> </tr> </table>	期末	中間	平常	出欠	50%	25%	10%	15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	
期末	中間	平常	出欠											
50%	25%	10%	15%											

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	1学年	開講期	後期		
科目名	保育原理	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	齋藤 裕	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	他大学での勤務						
授業のねらい (到達目標)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育の基礎基本および保育所、幼稚園、認定こども園等の施設の役割を理解する 2. 保育の歴史に関する基礎知識を身につけ、保育制度や施設の変遷について理解する 3. 保育に関する様々な思想を学び、それらと関連する多様な保育の理念や実際の保育を理解する 						
授業概要	<p>「保育」とは何かという保育の理念に始まり、保育の基本原則と理念を、保育の歴史を学ぶことを通して理解する。また、保育制度や施設の変遷を学び現代の保育のあり方を考える。 さらに、保育に関する様々な思想、多様な理念や実際の保育施設を知り、保育に関する学びを深める。</p>						
テキスト	「保育原理」豊岡短期大学						
授業計画	第1回	1. 保育の意義 保育理念と概念					
	第2回	児童の最善の利益を考慮した保育					
	第3回	保護者との協働					
	第4回	保育の社会的意義					
	第5回	保育所保育と家庭的保育					
	第6回	保育所保育指針の制度的位置づけ					
	第7回	2. 保育所保育指針における保育の基本 養護と教育の一体性					
	第8回	環境を通して行う保育					
	第9回	発達過程に応じた保育					
	第10回	保護者との緊密な連携					
	第11回	倫理観に裏付けられた保育士の専門性					
	第12回	3. 保育の思想と歴史の変換 諸外国の保育思想と歴史					
	第13回	日本の保育思想と歴史					
	第14回	改定された法律や新設された子ども家庭庁など保育制度の改定とその背景について					
	第15回	5. 保育の現状と課題					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	1学年	開講期	前期		
科目名	教育原理	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	斎藤 真	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	宮城県小中学校1.5年, 山形県小学校9年, 国立大教育学部及び大学院におけるティーチングアシストおよびティーチングサポート(授業支援, 学生支援)2年, 私大教員学部の教育研究職助手5年, 教育実習センター5年						
授業のねらい (到達目標)	教育思想, 世界の近代教育史, 日本の江戸末期から令和にいたすまでの大まかな教育史を学ぶことにより, 教育に関心を持ち, 理解を深められるようです。また教育制度面の特徴をつかめるようにする。						
授業概要	教育の基本的概念, 制度, 歴史面について理解を深めるとともに, 教育とは何か, 学校とは何かについて, 仕組みや方法, 意義をつかむ。						
テキスト	豊岡短期大学「教育原理」						
授業計画	第1回	オリエンテーション「教育」「学校」「先生」-教育とは何か-					
	第2回	「教育」とは何か -ヒトとチンパンジーとの違い-					
	第3回	教育思想家					
	第4回	教育思想家					
	第5回	「教育」の歴史 -近代日本の教育(江戸末期)-					
	第6回	「教育」の歴史 -近代日本の教育(明治・大正)-					
	第7回	「教育」の歴史 -近代日本の教育(大正)-					
	第8回	「教育」の歴史 -近代日本の教育(昭和)-					
	第9回	「教育」の歴史 -近代日本の教育-					
	第10回	幼小の接続					
	第11回	幼小の接続					
	第12回	教育における今日的課題					
	第13回	教育における今日的課題					
	第14回	諸外国の教育					
	第15回	諸外国の教育					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	1学年	開講期	前期		
科目名	社会福祉	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	中村 真治	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	介護支援専門員・地域包括支援センター職員・他大学での勤務						
授業のねらい (到達目標)	社会福祉の意義と歴史の変遷及び社会福祉における子ども家庭支援の視点、制度、方法などについて学び、保育に携わる専門職としての知識を深める。						
授業概要	子ども家庭福祉との関連の中で、保育者に必要な社会福祉の意義や歴史の変遷、その運営の制度や技術について理解を深める。						
テキスト	「社会福祉論」 豊岡短期大学						
授業計画	第1回	オリエンテーション					
	第2回	社会福祉の理念と歴史の変遷					
	第3回	社会福祉の制度と法体系					
	第4回	社会福祉行財政と、家庭機関、社会福祉施設等					
	第5回	社会福祉の専門職					
	第6回	社会保障および関連制度					
	第7回	相談援助の理論					
	第8回	ソーシャルワークの意義と機能					
	第9回	ソーシャルワークの対象と過程					
	第10回	ソーシャルワークの方法と技術					
	第11回	社会福祉における利用者の保護にかかわる仕組み					
	第12回	少子高齢社会における子育て支援					
	第13回	共生社会の実現と障害者施策					
	第14回	在宅福祉・地域福祉の推進					
	第15回	まとめ					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	1学年	開講期	後期		
科目名	社会的養護 I	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	渡邊 みゆき	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	児童養護施設での現場経験から、施設で生活する子どもたちの実際の姿や支援内容について実践的な指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの人権擁護、社会的養護の基本について理解する。 ・社会的養護の制度や法体系等について理解する。 ・社会的養護の現状と課題について理解する。 						
授業概要	社会的養護の基本的な知識、専門性、価値観を身につける。事例検討を踏まえながら、社会的養護に関する現状の理解を深めていく。						
テキスト	「社会的養護 I」 豊岡短期大学						
授業計画	第1回	オリエンテーション					
	第2回	社会的養護の理念と原理					
	第3回	社会的養護の実施体系					
	第4回	施設養護					
	第5回	家庭養護と家庭的養護					
	第6回	こども虐待					
	第7回	被措置児童等の虐待防止					
	第8回	日常支援と自立支援①					
	第9回	日常支援と自立支援②					
	第10回	社会的養護に関わる専門職					
	第11回	要保護児童対策地域協議会					
	第12回	社会的養護と地域福祉					
	第13回	社会的養護に関する社会的状況					
	第14回	社会的養護の現状と課題					
	第15回	まとめ					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	1学年	開講期	前期		
科目名	保育者論	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	金子 直也	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	新潟市の公立保育士として7年間勤務。子どもの主体性を育む関わり、実践的な保育技術、子ども一人一人の発達を捉えた計画作成、子どもの姿に合わせた専門知識の修得、修得した知識を基にした環境の見直しや保育の実践を行う。						
授業のねらい (到達目標)	幼稚園教諭等をはじめとする教職に対する理解を深めるとともに、専門職としての教師に必要な素養の質的向上を図る。						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・教職者の意義、役割、連携の重要性などを理解し、教職者としての意欲、態度、自覚を高める。 ・教師を取り巻く現況などを含めながら、教職者に求められる資質や能力とは何か、望ましい教職者とは何かを考える。 						
テキスト	豊岡短期大学「教職論」						
授業計画	第1回	授業の目的と概要 教職者の意義・定義					
	第2回	教職者の意義・定義 制度的位置づけ					
	第3回	教師の任用と服務					
	第4回	教師の仕事・義務・役割					
	第5回	教職を取り巻く現況					
	第6回	教職を取り巻く現況					
	第7回	教職者に求められる資質・能力					
	第8回	教職者に求められる資質・能力					
	第9回	指導計画の作成					
	第10回	指導計画の作成					
	第11回	教師の連携(職員間、幼少間、地域間)					
	第12回	教師の連携(職員間、幼少間、地域間)					
	第13回	教員研修					
	第14回	教員研修					
	第15回	教師像の歴史的変遷					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	1学年	開講期	後期		
科目名	保育の計画と評価	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	金子 直也	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	新潟市の公立保育士として7年間勤務。子どもの主体性を育む関わり、実践的な保育技術、子ども一人一人の発達を捉えた計画作成、子どもの姿に合わせた専門知識の修得、修得した知識を基にした環境の見直しや保育の実践を行う。						
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領や保育所保育指針等の変遷を知り、教育の課題や背景を理解している。 ・教育課程の作成手順や作成上の留意点を理解している。 ・保育の評価や具体的なPDCAサイクルを理解している。 						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育や保育における教育課程、全体的な計画の意義と役割を学ぶ。 ・子どもの発達や学びを繋ぐ幼児教育と小学校教育の円滑な接続、連携の在り方を学ぶ。 						
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・豊岡短期大学「教育課程論」 ・文部科学省「幼児の思いをつなぐ指導計画の作成と保育の展開」 						
授業計画	第1回	授業の目的と概要 教育課程・全体的な計画の意義と必要性					
	第2回	教育課程の在り方、編成の手順と方法					
	第3回	全体的な計画の在り方、編成の手順と方法					
	第4回	長期・短期の指導計画					
	第5回	計画作成演習					
	第6回	計画作成演習					
	第7回	計画を実践する上での配慮事項					
	第8回	幼稚園教育要領の変遷					
	第9回	日本における教育課程の変遷					
	第10回	保育所保育指針の変遷					
	第11回	日本における保育課程の変遷					
	第12回	危機管理保育のカリキュラムの意義と必要性					
	第13回	学びを繋ぐ幼・保・小連携カリキュラム					
	第14回	評価の仕方・PDCAサイクル					
	第15回	教育課程・保育課程をめぐる諸問題					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施	授業時数の2/3以上の出席	総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学

対象学科	こども学科	実施学年	1学年	開講期	前期									
科目名	保育内容総論	授業形態	講義	単位数	1単位									
担当教員	原田 明子	実務経験の有無	○											
実務経験教員の経歴	私立幼稚園・保育所での勤務経験から、現場で行われている保育と理論が一致する実践的指導を行う。													
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・養護と教育が一体となった保育、領域の考え方や保育内容を総合的に理解する。 ・園での生活や遊び、保育計画、具体的な援助等について保育実践と結び付ける。 													
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1) 領域別に学んだ内容を実際の子どもの姿と結びつけて総合的に理解する。 2) 保育所保育指針等に基づく保育内容の基本的理解が深まるようにする。 													
テキスト	「保育内容総論」「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」「認定こども園教育保育要領」													
授業計画	第1回	保育の全体構造(1) 保育とは、幼稚園・保育所・認定こども園とは												
	第2回	保育の全体構造(2) 指針・要領と養護と教育に一体化												
	第3回	保育の全体構造(3) 育みたい資質能力・幼児期の終わりまで育ってほしい姿												
	第4回	乳幼児にふさわしい生活と保育内容(1) 環境を通しての保育・アクティブラーニング												
	第5回	乳幼児にふさわしい生活と保育内容(2) 遊びによる総合的保育												
	第6回	乳幼児にふさわしい生活と保育内容(3) 生活と遊びと保育者の役割												
	第7回	乳幼児にふさわしい生活と保育内容(4) 保育者の役割まとめ												
	第8回	乳幼児にふさわしい生活と保育内容(5) 幼保小の連携について												
	第9回	全体的な計画の作成と指導計画												
	第10回	保育の評価と保育の記録(1) 幼児理解に基づく評価												
	第11回	保育の評価と保育の記録(2) 観察記録を書く意味と幼児理解												
	第12回	保育内容の歴史的変遷にみる特徴と課題												
	第13回	保育内容の現代的課題(子育て支援・多文化共生)												
	第14回	科目修了試験												
	第15回	期末テスト												
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	<table border="1"> <tr> <th>期末</th> <th>中間</th> <th>平常</th> <th>出欠</th> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>15%</td> </tr> </table>	期末	中間	平常	出欠	50%	25%	10%	15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	
期末	中間	平常	出欠											
50%	25%	10%	15%											

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	1学年	開講期	後期	
科目名	人間関係	授業形態	演習	単位数	1単位	
担当教員	原田 明子	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	私立幼稚園・保育園での勤務経験から、子どもの発達を促す保育内容について理論に基づき実践的指導を行う。					
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所保育指針・幼稚園教育要領における領域人間関係のねらいや内容の取扱いについて理解する。 ・人間関係の発達や自立心・協同性の発達を理解し、保育実践に応用できる。 					
授業概要	1) 事例を用い、さまざまな子どもの人と関わる力の育ちを考察する。 2) 保育者としてどのように人と関わる力を育てていくのか、保育者として子どもとどのような関係を築いていくか考察する。					
テキスト	豊岡短期大学「人間関係論」、保育所保育指針					
授業計画	第1回	保育の基本と人との関わり				
	第2回	演習1「私は誰」「対人関係図」、ワークシート1				
	第3回	乳児期における人との関わり力の発達、ワークシート2				
	第4回	遊びの中で育つ人との関わり、演習3、ワークシート3				
	第5回	人との関わりを育てる保育の充実・保育者の役割				
	第6回	人との関わりが難しい子どもへの支援				
	第7回	園、家庭、地域の生活と人との関わり				
	第8回	演習4、事例 グループワーク				
	第9回	ワークシート4、領域人間関係をめぐる諸問題				
	第10回	単位認定試験				
	第11回	インドプロジェクトの事例から保育内容を考察する				
	第12回	インドプロジェクトの事例から5領域の関連を考察する				
	第13回	子どもの人と関わる力を育む保育内容を考える				
	第14回	子どもの人と関わる力を育む保育内容を考える(ロールプレイ)①				
	第15回	子どもの人と関わる力を育む保育内容を考える(ロールプレイ)②				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度	総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	1学年	開講期	前期		
科目名	言葉	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	板垣 裕	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	幼児教育施設での勤務経験を活かし、実践的な授業を行う。						
授業のねらい (到達目標)	領域『言葉』の内容、その他の領域との相互性を学び、言葉の発達の大切さを理解することができる。						
授業概要	乳幼児期の言葉の発達やそのしくみ、こどものへの先達となる保育者の言葉のあり方、姿勢などについて学習を深め、発達段階に合わせた関わりと言葉がけの大切さを理解すると共に、文字への興味、言葉の持つ楽しさや美しさ、言語教材についても学ぶ。						
テキスト	新保育ライブラリ 保育の内容・方法を知る 言葉						
授業計画	第1回	言葉とは何か？ 私たちが言葉を使って行っていること					
	第2回	母語・日本語の特徴					
	第3回	言葉の形態(聞く話す読む書く)					
	第4回	言葉の役割①					
	第5回	言葉の役割②					
	第6回	言葉の発達(誕生期～乳児期)①					
	第7回	言葉の発達(誕生期～乳児期)②					
	第8回	言葉の発達(幼児期)					
	第9回	保育者の関わり(誕生期～乳児期)					
	第10回	保育者の関わり(幼児期)					
	第11回	豊かに言葉を育む活動①【語用論】					
	第12回	豊かに言葉を育む活動②児童文化財					
	第13回	豊かに言葉を育む活動②児童文化財					
	第14回	言葉の問題② 障害					
	第15回	視聴覚教材【ピンク帽子のドレミファソ】					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		50%		25%	10%	15%	
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	1学年	開講期	後期		
科目名	表現	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	山田 すみ江	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	保育士、幼稚園教諭、母親学級講師、スポーツインストラクター経験を生かし、現場で求められる保育者の資質に基づいて実践的な指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	保育内容を理解し、表現遊びを展開するために必要な知識や技術を表現領域から見出し、保育指導法を修得していくことを目的とする。また、こどもの表現の指導援助者として、保育内で扱う教材について必要な知識も併せて修得する。 表現に関する知識や保育技術の修得と、実践を通じた感性や人間力の育成を目指す。						
授業概要	幼稚園教育要領、保育所諸育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領「表現」の内容を主軸として他領域での知識や技能と関連させながら、こどもにとっての表現について、その意義、効果的な指導法、使用教材の知識などについての理論と実践方法を自らの音楽表現や身体表現、言語表現、造形表現から学習する。						
テキスト	「改訂4版 幼児の音楽教育法 美しい歌声をめざして」 ふくろう出版 吉富 功修・三村 真弓 編著						
授業計画	第1回	領域「表現」についての基本的な考え方 「表現」についての洞察					
	第2回	領域「表現」の指導案において求められる表現の捉え方と評価 小学校の教科とのつながりについての理解					
	第3回	基礎リズム 基礎リズムパターンの理解と指導上の留意点					
	第4回	幼児期の身体的・精神的発達をふまえた指導法の理解					
	第5回	基本動作 幼児の心情・認識・思考・動きをふまえた基本動作					
	第6回	日常生活が表現につながる可能性に気づき、観察や模倣を通して幼児のイメージを豊かにする指導法					
	第7回	CD等の情報機器を用いた多様な振り付けの実践と理解					
	第8回	童謡やわらべうたについての多様な振付の実践 幼児の表現したい気持ちを育む指導法の実践					
	第9回	楽器の製作と活用、製作した楽器を用いての指導案の作成					
	第10回	楽器の取り扱いと身近な素材を使った楽器製作 指導案作成の基礎を理解し、指導案の作成					
	第11回	領域「表現」と幼保小のつながり					
	第12回	オノマトペ(擬態語・擬音語・擬声語)の表現方法について					
	第13回	表現する力を育てるための保育者の役割と援助について					
	第14回	絵本のストーリーを取り入れた模擬保育の実践 保育構想発展のための相互発表による振り返り					
	第15回	リズム遊びを用いた創作発表					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	1学年	開講期	前期
科目名	音楽表現 I	授業形態	演習	単位数	1 単位
担当教員	石川美穂・寺内めぐみ・市嶋融介・林麻里子	実務経験の有無	○		
実務経験教員の経歴	各講師それぞれが、音楽教室・自宅でのピアノ指導歴数十年、またソロの演奏活動、声楽(他楽器)の伴奏等の経験より、初心者からレベルの高い学生まで幅広い指導を行うことができ、「音楽による表現」へのアプローチ、コードによる伴奏付け等のアドバイスをを行っている。				
授業のねらい (到達目標)	音を間違え、途中で止まる、弾き直すなどのない演奏をする。 楽曲のテンポを正しくとり、音楽の流れを中断しないようにする。 抑揚のある表情豊かな演奏を心がけたとえ練習曲であっても美しい音楽作品になるように心がける。				
授業概要	本科目では、楽譜を読む、音を奏でる、リズムを打つといった音楽の基礎知識、技術を身につけ、対象者に合わせた音楽活動について考察する。また、保育・教育・福祉等の現場に即した音楽活動について体験的な学習をする。				
テキスト	「こどもの指導法『音楽表現』」「バイエルピアノ教則本」「保育の四季 幼児の歌110曲集」				
授業計画	第1回	本科目の概要の説明。「こどもと音楽表現」「バイエルピアノ教則本」各テキストと「幼児の歌110曲集」より、テクニックを身につけながら実践で活用できるレパートリーを増やす。個々のレベル把握。			
	第2回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。初心者は初歩の課題から音読み・リズム・運指に慣れる。			
	第3回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。初心者は初歩の課題から音読み・リズム・運指に慣れる。			
	第4回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。初心者は初歩の課題から音読み・リズム・運指に慣れる。			
	第5回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。初心者は初歩の課題から音読み・リズム・運指に慣れる。			
	第6回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。初心者は初歩の課題から音読み・リズム・運指に慣れる。			
	第7回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。初心者は初歩の課題から音読み・リズム・運指に慣れる。			
	第8回	中間試験			
	第9回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。			
	第10回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。			
	第11回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。			
	第12回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。			
	第13回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。			
	第14回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。			
	第15回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。			
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度	総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10% 出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する					

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	1学年	開講期	後期		
科目名	造形表現 I	授業形態	演習	単位数	1 単位		
担当教員	渡邊 恵美	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	高等学校美術科非常勤講師						
授業のねらい (到達目標)	乳幼児造形教育の指導・援助者として、必要な形や色や質感等の基礎的な知識及び技能について理解ができる。 えがく、つくる、造形あそびの領域の製作を通して、基礎的な知識及び技能について習得できる。 教材研究及び発表を行うことで思考力や表現力を高めることができる。						
授業概要	幼児造形の指導・援助者として形や色等の造形の基本的な理論を学習しながら、実際にそれらについてテーマをもとに色彩分割及び構成学習を行う。また、具体的な描写によって観察力を養い、合わせて用具や描画材の特性を利用してさまざまな表現技法から想像力を高め、体験的に理解する。さらに、さまざまな素材をもとに、それらの特性を活かして創意工夫しながら製作を展開し、平面及び立体における造形教育に必要となる知識や技術を身につける。						
テキスト	造形表現論(豊岡短期大学)						
授業計画	第1回	幼児造形教育の重要性と研究の視点について					
	第2回	幼児造形(表現)の特徴・領域・道筋について					
	第3回	えがく領域に伴う製作I(えがく活動における指導・援助と実際)					
	第4回	えがく領域に伴う製作I(えがく活動における指導・援助と実際)					
	第5回	つくる領域に伴う製作I(つくる活動における指導・援助と実際)					
	第6回	つくる領域に伴う製作I(つくる活動における指導・援助と実際)					
	第7回	造形あそびの領域に伴う製作III(造形遊びにおける指導・援助と実際)					
	第8回	造形あそびの領域に伴う製作III(造形遊びにおける指導・援助と実際)					
	第9回	作品の研究及び発表					
	第10回	作品の研究及び発表					
	第11回	作品の研究及び発表					
	第12回	作品の研究及び発表					
	第13回	作品の研究及び発表					
	第14回	幼児造形教育の課題について					
	第15回	まとめ					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	1学年	開講期	後期		
科目名	乳児保育 I	授業形態	講義	単位数	2 単位		
担当教員	原田 明子	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	私立乳児園での勤務経験から、現場で求められる乳児保育担当者の資質・能力が培われるよう、実践的指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児保育の理念と役割を理解する ・3歳未満児の発達を理解し、個々の発達を促す保育内容とは何か考える。 						
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1) 乳児保育の理念・役割・発達を理解し、学んだことを整理しまとめる。 2) 事例をとおして、乳児のかかわり方を知る。 						
テキスト	豊岡短期大学「乳幼児保育」、保育所保育指針、日本が誇る丁寧な保育、0.1.2歳児の発達と保						
授業計画	第1回	「赤ちゃんの不思議」を視聴し、赤ちゃんのしらせざる能力を知り、乳幼児に興味をもつ					
	第2回	乳児保育とは 乳児保育の基本と子どもの最善の利益について					
	第3回	乳児保育における「養護」と「教育」の一体性とは					
	第4回	乳児保育の歴史と現代における乳児保育の役割と機能					
	第5回	0歳児の発達特徴と保育者の援助					
	第6回	1歳児の発達特徴と保育者の援助					
	第7回	2歳児の発達特徴と保育者の援助					
	第8回	乳児の発達を促す保育者の関わり(事例)①					
	第9回	乳児の発達を促す保育者の関わり(事例)②					
	第10回	保育所における子育て支援					
	第11回	乳児保育と子育て支援					
	第12回	乳児の衛生面・安全面を7考慮した保育のあり方					
	第13回	乳児の生活習慣を育む保育者の援助・配慮について					
	第14回	赤ちゃんの記録づくりを通し、赤ちゃんが保護者にとってどれほど大切かを学ぶ					
	第15回	科目修了テスト					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	1学年	開講期	通年(後期)
科目名	保育実習指導 I	授業形態	演習	単位数	2単位
担当教員	笠井 多佳子 金子 直也	実務経験の有無	○		
実務経験教員の経歴	公立保育士として勤務を経て、実習指導担当の経験を活かし、今の時代、今の学生の姿に合った実習とは何かを問いながら授業を行ってきた。その中で、様々な保育実技に関するスキルや様々な場面において「子どもの気持ちに寄り添う」ことの意味を学生と一緒に考え、ステップアップに繋がりたいと考える				
授業のねらい (到達目標)	①望まれる保育者の姿に関心をもち、自身を振り返りながら保育者としての在り方を身に付ける。 ②指導案の立て方を知る。 ③『ねらい』をしっかりとって実習することの大切さに気付く。				
授業概要	①テキストと保育現場での実際をリンクさせながら、求められる保育者像について学ぶ。 ②育ちに合った指導案のテーマ選びや立て方を指導する。 ③グループ実習を通して、めあてをもって実習に取り組む大切さを伝える。 ④外部実習に向けての準備を進める。				
テキスト	「実習のしおり」、大豆生田啓友ほか編著「学生・養成校・実習園かともに学ぶ これからの時代の保育者養成・実習ガイド」中央法規、乳幼児の発達と保育研究会著「0・1・2歳児の発達と保育 乳幼児の遊びと生活」「3・4・5歳児の発達と保育 乳幼児の遊びと生活」郁洋社、宮里暁美編著「0・1歳児クラス編 触れて感じて人とかかわる 思いをつなぐ保育の環境構成」「2・3歳児クラス編 触れて感じて人とかかわる 思いをつなぐ保育の環境構成」「4・5歳児クラス編 触れて感じて人とかかわる 思いをつなぐ保育の環境構成」中央法規				
授業計画	第1回	時系列の日誌の書き方・日誌におけるねらいの設定・ねらいに着目した日誌の書き方を学ぶ			
	第2回	時系列の日誌の書き方・日誌におけるねらいの設定・ねらいに着目した日誌の書き方を学ぶ			
	第3回	時系列の日誌の書き方・日誌におけるねらいの設定・ねらいに着目した日誌の書き方を学ぶ			
	第4回	部分実習指導案の書き方を学ぶ			
	第5回	部分実習指導案の書き方を学ぶ			
	第6回	部分実習指導案の書き方を学ぶ			
	第7回	部分実習指導案の書き方を学ぶ			
	第8回	部分実習やチャレンジシートについて振り返りをする。外部実習に向けて自分の課題を明確にする			
	第9回	外部実習の意義や目的の理解・めあての作成・オリテの指導・実習ファイル作成			
	第10回	保育実習 I (保育所)の準備・部分実習指導案作成			
	第11回	保育実習 I (保育所)の準備・部分実習指導案作成			
	第12回	模擬保育・保育実技・保育ネタの発表会			
	第13回	模擬保育・保育実技・保育ネタの発表会			
	第14回	保育実習 I (保育所)のふりかえり			
	第15回	保育実習 I (保育所)のふりかえりから教育実習(幼稚園)に向けて			
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度 上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10% 出欠 15%

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	1学年	開講期	通年(前期)	
科目名	保育実習指導 I	授業形態	演習	単位数	2 単位	
担当教員	笠井 多佳子 金子直也	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	公立保育士として勤務を経て、実習指導担当の経験を活かし、今の時代、今の学生の姿に合った実習とは何かを問いながら授業を行ってきた。その中で、様々な保育実技に関するスキルや様々な場面において「子どもの気持ちに寄り添う」ことの意味を学生と一緒に考え、ステップアップに繋がりたいと考える					
授業のねらい (到達目標)	①実習の楽しさを伝えと共に人としてのマナーを共有し、保育者としての倫理理解につながるようにする。 ②グループ園実習を通して、保育を観察する力を養う(子どもの育ちについて・保育者の援助やその意図について・保育環境やその意図についてエピソード記述ができるよう保育用語を知り日誌の書き方につなげる) ③グループ園実習と学校での学びをすり合わせながらこどもの発達理解を深めていく					
授業概要	①テキストや実習のしおりを通して、実習のマナーや保育者の倫理などについて理解する。 ②グループ園実習の日誌や指導案を実際に書き、文章力や書き方を身に付ける。 ③グループ園実習を通して、0歳～5歳の育ちや必要な援助などを学ぶ。					
テキスト	「実習のしおり」、大豆生田啓友ほか編著「学生・養成校・実習園がともに学ぶ これからの時代の保育者養成・実習ガイド」中央法規、乳幼児の発達と保育研究会著「0・1・2歳児の発達と保育 乳幼児の遊びと生活」「3・4・5歳児の発達と保育 乳幼児の遊びと生活」郁洋社、宮里暁美編著「0・1歳児クラス編 触れて感じて人とかかわる 思いをつなぐ保育の環境構成」「2・3歳児クラス編 触れて感じて人とかかわる 思いをつなぐ保育の環境構成」「4・5歳児クラス編 触れて感じて人とかかわる 思いをつなぐ保育の環境構成」中央法規					
授業計画	第1回	「保育者って何?」「保育園でどんなところ?」				
	第2回	「保育者って何?」「保育園でどんなところ?」				
	第3回	・実習のマナーや取り組み方について(「実習のしおり」より) ・実習ファイルの作成				
	第4回	・実習のマナーや取り組み方について(「実習のしおり」より) ・実習ファイルの作成				
	第5回	乳幼児の発達理解や必要な援助について(こどもっと実習振り返りから) 実習の感想の言語化し、エピソードを拾い日誌の書き方につなげる				
	第6回	乳幼児の発達理解や必要な援助について(こどもっと実習振り返りから) 実習の感想の言語化し、エピソードを拾い日誌の書き方につなげる				
	第7回	乳幼児の発達理解や必要な援助について(こどもっと実習振り返りから) 実習の感想の言語化し、エピソードを拾い日誌の書き方につなげる				
	第8回	グループ園実習振り返り				
	第9回	グループ園実習振り返り				
	第10回	エピソードもとに時系列の日誌を書く。エピソードを日誌にどう入れ込むか?				
	第11回	エピソードをもとに時系列の日誌を書く。(主に個人指導)				
	第12回					
	第13回	エピソードもとに時系列の日誌を書く。エピソードを日誌にどう入れ込むか?(個人指導)				
	第14回	エピソードもとに時系列の日誌を書く。エピソードを日誌にどう入れ込むか?(個人指導)				
	第15回	指導案の考え方、書き方				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度	総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども学科	実施学年	1学年	開講期	前期		
科目名	造形表現Ⅱ	授業形態	講義	単位数	1単位		
担当教員	渡邊 恵美	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	高等学校美術科非常勤講師						
授業のねらい (到達目標)	子どもの表現や発達をイメージしながら、美術・造形の基礎・基本が身につく、実際に役立つような理論と教材研究を体得する。実技においても単に制作するのではなく、子どもの表現、発達、発想を常にイメージし、教育の現場に立った時を考えながら制作活動をする。						
授業概要	単なる美術・造形ではなく、幼児・児童に即した造形表現の教材を視野に入れて、子どもが楽しく造形活動ができる教材のあり方、支援の仕方、指導のあり方についても考えに入れながら、理論と実技の両面から実践的に研究をする。						
テキスト	「造形表現論」豊岡短期大学						
授業計画	第1回	人と美術造形表現について					
	第2回	美術・造形分野について					
	第3回	色・色彩について①					
	第4回	色・色彩について②					
	第5回	色・色彩について③					
	第6回	形の構成 構成の原理①					
	第7回	形の構成 構成の原理②					
	第8回	形の構成 構成の原理③					
	第9回	いろいろな表現技法について①					
	第10回	いろいろな表現技法について②					
	第11回	いろいろな表現技法について③					
	第12回	立体造形表現①					
	第13回	立体造形表現②					
	第14回	鑑賞					
	第15回	造形教育のまとめ					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	1学年	開講期	前期		
科目名	音楽基礎	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	石川 美穂	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	個人教室でのピアノレッスンの他、障害児施設での余暇講師として音楽活動を行う。また、演奏会やオーディションに参加することで自ら技術の向上を目指す。						
授業のねらい (到達目標)	子どもの豊かな感性や表現力、想像力を育むために、指導者に必要な音楽的技術を身に付け、保育者としての感性を養う。						
授業概要	1)楽譜を読むための音楽的基礎知識を学ぶ 2)音楽表現における乳幼児の発達過程を学び、指導者としての感性を養う。						
テキスト	・豊岡短大テキスト「音楽表現論」 ・「保育の四季 幼児の歌110曲集」						
授業計画	第1回	幼児教育における音楽の役割について					
	第2回	基礎知識① 音の高低 楽譜の読み方 音名と臨時記号					
	第3回	基礎知識② 音の長短 拍子記号					
	第4回	基礎知識③ 速度表示 強弱記号					
	第5回	基礎知識④ 奏法記号 省略記号					
	第6回	調性について① 音階					
	第7回	調性について② 主音と調号					
	第8回	和声とコード① 度数 音程					
	第9回	和声とコード② 三和音 コードネーム					
	第10回	中間試験					
	第11回	楽器の基本奏法					
	第12回	レポート対策					
	第13回	レポート対策					
	第14回	科目終了試験					
	第15回	前期期末試験					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	1学年	開講期	通年(後期)	
科目名	音楽表現Ⅱ	授業形態	演習	単位数	1単位	
担当教員	石川美穂・寺内めぐみ・市嶋融介・林麻里子	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	各講師それぞれが、音楽教室・自宅でのピアノ指導歴数十年、またソロの演奏活動、声楽(他楽器)の伴奏等の経験より、初心者からレベルの高い学生まで幅広い指導を行うことができ、「音楽による表現」へのアプローチ、コードによる伴奏付け等のアドバイスをを行っている。					
授業のねらい (到達目標)	音を間違え、途中で止まる、弾き直すなどのない演奏をする。 楽曲のテンポを正しくとり、音楽の流れを中断しないようにする。 抑揚のある表情豊かな演奏を心がけたとえ練習曲であっても美しい音楽作品になるように心がける。					
授業概要	本科目では、楽譜を読む、音を奏でる、リズムを打つといった音楽の基礎知識、技術を身につけ、対象者に合わせた音楽活動について考察する。また、保育・教育・福祉等の現場に即した音楽活動について体験的な学習をする。					
テキスト	「こどもの指導法『音楽表現』」「バイエルピアノ教則本」「保育の四季 幼児の歌110曲集」					
授業計画	第1回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第2回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第3回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第4回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第5回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第6回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第7回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第8回	中間試験				
	第9回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第10回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第11回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第12回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第13回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第14回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第15回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度	総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	1学年	開講期	前期		
科目名	人間関係論	授業形態	講義	単位数	1単位		
担当教員	原田 明子	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	私立幼稚園・保育園での勤務経験から、子どもの発達を促す保育内容について理論に基づき実践的指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育内容を構成する人間関係の基礎理論を理解する。 ・子どもの発達とともに人間関係がどのように広がり、深まっていくのかを理解する。 ・保育の全体構造における人間関係に関して総合的に援助・指導が行えるような理論や知識を習得する。 						
授業概要	1) 乳幼児を取り巻く人的環境について理解する。 2) 現代社会の人間関係の諸問題を理解し、子どもが豊かな人と関わる力を育成するための、保育者の指導・援助などのかかわり方を理解する。						
テキスト	豊岡短期大学「人間関係論」、保育所保育指針解説、幼稚園教育要領解説						
授業計画	第1回	子どもの育つ環境を理解し、環境からさまざまな影響を受ける他者と関係					
	第2回	子どもを取り巻く環境と子どもが人と関わる力を育てるには					
	第3回	領域人間関係のねらいと内容					
	第4回	メディアが子どもの成長に与える影響					
	第5回	人間関係作りを支える保育者の役割					
	第6回	基本的信頼関係と人間関係					
	第7回	自己主張・葛藤体験・他者受容とは					
	第8回	遊びの中で育つ人と関わる力①					
	第9回	遊びの中で育つ人と関わる力②					
	第10回	乳児期の人との関わり					
	第11回	幼児期と人との関わり					
	第12回	主体性、自発性、自立性、創造性など個の育ちと集団の関係性					
	第13回	幼児期と学童期の育ちの連続性と人と関わる力					
	第14回	まとめ：乳幼児期の人と関わる力を育てるとは					
	第15回	科目終了試験					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価：課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	1学年	開講期	前期		
科目名	教育方法論	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	曾根原 和明	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	小学校教員として12年間勤務し、学級担任として児童の発達段階に応じた指導法や学級経営を実践してきた。ICT機器の活用、多様な教材の工夫、学習形態の工夫を通して、児童の主体的な学びを引き出す授業づくりに取り組んできた経験を有する。こうした現場での実践を基に、本授業では教育方法の基礎理論とともに、それを実際の教育・保育の場面でどう活用するかを具体的に伝える。						
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育方法に関わる基礎的理論を理解している。 ・社会において求められている資質・能力の捉えを理解した上で、資質・能力を育成するための教育方法について具体的に考察することができる。 ・ICT機器の活用や教材研究、授業形態等について基礎的な理論を理解し、授業における活用を保育・教育の具体的な場をイメージして考察することができる。 ・学習評価について基本的な理論を理解し、評価規準の設定等を行うことができる。 						
授業概要	この講義は、これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力をどのように学校教育において育成するかを考察することが目的である。そのためにこれまでの教育方法の変遷を踏まえ、新たな授業構成や授業展開及びICT活用を含めた教材の活用方法について基礎的理論を理解する。また、それらを授業において、どのように資質・能力の育成に結び付けていくのかを中期的に考察する。						
テキスト	豊岡短期大学「教育方法論」						
授業計画	第1回	教育方法の定義・意義と守備範囲					
	第2回	近代以降の幼児教育(保育)方法					
	第3回	幼児の理解と幼児教育(保育)の方法					
	第4回	幼稚園教育要領と幼保連携型認定こども園教育・保育要領					
	第5回	幼児教育(保育)内容と小学校の教育内容					
	第6回	教材・教具の理解と活用					
	第7回	教育技術の革新と情報機器の活用					
	第8回	授業展開の構想					
	第9回	特色ある授業実践					
	第10回	教育実践					
	第11回	授業分析と授業評価					
	第12回	教育方法の歴史的展開①(西欧の教育方法)					
	第13回	教育方法の歴史的展開②(近・現代の教育方法)					
	第14回	教育方法の歴史的展開③(日本の教育方法)					
	第15回	教育方法の課題と展望					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	1学年	開講期	後期		
科目名	教育実習事前指導	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	熊倉 美和	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	幼児教育施設での勤務経験を活かし、実践的な授業を行う。						
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の意義、目的、心構えを学ぶ。 ・子どもと関わりながら幼児理解を深め、実践力を身に付ける。 ・指導案や日誌の書き方を理解する。 ・振り返りをし、自己評価を行い自己課題を明確にする。 						
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> ①教育実習の意義と目的、実習生との心構えを学ぶ。 ②幼児の発達の特長や発達過程を学ぶ。 ③幼児理解や観察の視点、方法、指導案作成等の習得に努める。 ④目標を持って実習に臨む態度を育成する。 ⑤実習後、総括と自己評価を行い、課題や目標を明確にする。 						
テキスト	「幼稚園教育実習事前・事後指導」豊岡短期大学、「保育者の常識67」、DVD「幼児とのかかわりを考える」、「幼稚園教育要領解説」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」						
授業計画	第1回	実習の意義と目的・幼稚園教育の特質					
	第2回	実習生としての心構え					
	第3回	実習生としての心構え					
	第4回	子どもを取り巻く環境(環境構成)・幼児理解と保育					
	第5回	子どもを取り巻く環境(環境構成)・幼児理解と保育					
	第6回	教師の援助、保護者理解と支援					
	第7回	教師の援助、保護者理解と支援					
	第8回	教師の援助、特別な支援を要する子どもへの対応					
	第9回	教師の援助、特別な支援を要する子どもへの対応					
	第10回	実践演習:子ども理解に基づいた援助					
	第11回	実践演習:部分実習					
	第12回	実践演習:責任実習					
	第13回	実践演習:責任実習					
	第14回	実践の評価、自分の課題の明確化					
	第15回	実践の評価、自分の課題の明確化					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							